

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2015年 9月号



雷鳥荘(立山)にて(3000m級全山踏破記念山行)



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2015年 9月1日発行 通巻269(毎月1回発行)

夏山の疲れを癒そう

そして紅葉の秋山へ

9月号目次

・ 目 次	2
・ 会・クラブ紹介 「千葉民医連山を歩こう会」	3
・ ハイキングリレーエッセ	4
・ ネパール・トレッキング報告	5
・ 県連50周年事業紹介	7
・ 著書の案内「松戸から登った山」	10
・ ゆう便り NO15	11
・ 登山文化を守る声明	14
・ 県連便り	15
・ 9月・10月予定表	16

表 紙 紹 介

職場の先輩の、3000M峰、全山登頂の記念写真です。
千葉県連では、唯一職場単位の会です。過去には幾つか職場の会も
あったようです。

「民医連千葉山を歩こう会」は、1989年創立・現会員数は12名、
最高時は50名を超える会員が在籍していたそうです。

—— 編集者 ——

会・クラブ紹介

「千葉民医連山を歩こう会」

会長 松島昌信

千葉民医連山を歩こう会（通称「歩こう会」）は、千葉県民主医療連合会の中の職員や元職員で構成されている職域の山岳会です。創立は1989年、労山加盟は1993年です。

会員数は最盛期で名前だけ会員を含めて50名を優に超え、バスを借り切って尾瀬や霧ヶ峰などへ繰り出したこともありましたが、現在は会員数17名（労山会員は12名）と、年々減少しています。

会主催の山行もハイキングがメインとなり、年3、4回となってきました。個人山行では年20回以上の山行や難易度の高い山に行く方もいます。

会の今の問題点はやはり「高齢化」でしょうか？ 老若男女を問わず山登りをする職員は結構いることはいるのですが、会に入ると何かと面倒という方も多く、なかなか入会に結びついていないのが現状です。（結果として、年々平均年齢が上がっています。）

最近の恒例の会の楽しみは、「春の井ノロ山荘での飲み会（山談義の会）」と「花井名誉会長宅での忘年会」です。井ノロさんは前会長で、今は鹿島に住んでいます。羊山公園を真似て作った芝桜満開の100坪の庭は、それはそれはとても見事です。飲んだくれて、翌朝湖周辺をジョギングするのもとても楽しいです。花井先生宅の忘年会は、奥様のお料理に舌鼓を打ちながら、やはり飲んだくれて、翌朝まで爆睡というのが実に気持ち良いのです。（どちらも山行ではありませんね。すみません。）

こんなしょうもない会ですが、春の新緑、秋の紅葉を楽しむハイキングや山小屋泊の夏山登山、富士山を眺める忘年ハイキングなども行っていますので、これからも宜しく願い致します。



新春山行（高尾山）



南アルプス（茶臼岳）

小さな夢

小山 政夫（こまくさハイキングクラブ）

この8月に北ア冷池山荘から鹿島槍、五竜岳を経て遠見尾根を下った。
今まで唐松から五竜、また扇沢から鹿島槍には登ったことはあるが、この間が繋がっていなかった。今回は大町温泉奥の民宿に泊まり赤岩尾根から登った。幸い天気にも恵まれたので冷池山荘から五竜山荘まで一気に歩くことができた。

私なりに「上高地のウエストン像から日本海側親不知のウエストン像まで」繋げたいという夢を持っているが一步近づいた。まだ朝日岳から親不知までの難関が残っている、二年前にトライしたが台風で撤退した。朝日岳から南の方は白馬。針の木を経て三俣蓮華までなんとか繋がった。また別のルートで白馬、祖母谷温泉、樺平、仙人池、剣沢から室堂。室堂から薬師、黒部五郎を経て三俣蓮華もつながっている。仙人池に映る晩秋の裏剣の眺めは素晴らしい。残念ながら三俣から槍ヶ岳の間が途切れている。槍ヶ岳、穂高から上高地は曲りなりにも繋がっている。北穂、涸沢岳の間の岩場、奥穂、西穂間の岩場はどちらも聞きしに勝る緊張感を要求される難所だ。ここも台風のため小屋で待機した挙句撤退し三回目のトライでやっとクリアした思い出の所だ。山は危険に充ちている。恐ろしさ、疲労困憊を強い、不安感を募らせる。時には厳しい決断を迫る。下界で通用する教養、上品さ、ステータスなどは全く通用しない。擬装は剥げ落ちありのままの姿が現れる。山は情け容赦のない教師である。

山は心身の救護院でもある。下界に居るときの心のわだかまり、悩みなど山を歩くうちに忘れ、癒される。少々の風邪や体調不良も回復する。

さりながら年齢を重ねるにつれ山が遠くなってゆくように感ずる。しかし先人たちの言葉「人類が挑戦してはならない夢はない」（マロリー）、「ノオアドベンチャー、ノオウィン」に励まされつつまた、「人間は山から、また不安も危険も分かち合う仲間たちとの友情から計り知れない喜びを得る」（エベレスト登山インド隊隊長グヤン・シン准将）を胸に秘めながらこれからも小さいながら夢を持ち続けてゆきたい。



仙人池からの
剣と逆剣

ネパール・クーンブ山群トレッキング報告

ちば山の会 鈴木 憲二・鈴木愛子

【日 程】 2015年4月1日～4月30日
【山 域】 ネパール・クーンブ山群
【目 的】 スリーパス超えとスリーピーク登頂



【登山方法】 ツアー参加 ロッジ泊トレッキング
【概 要】 成田⇄カトマンズ⇄ルクラ⇄ナムチャバザール～チュクン～チュクンピーク（5,200m）～コンマパス（5,500m）～ロブチェ～ゴラクシェブ～カラパタール（5,545m）～チョラパス（5,330m）～ゴウキョ～ゴーキョピーク（5,360m）～レンジョパス（5,345m）～ターメ～ナムチャバザール

【はじめに・ネパール大地震報告】



崩壊した、レンガの壁

予定がほぼ終わりに近い4月25日に、ナムチャバザールからパクディンへ下山中に、あの大地震に遭遇しました。その日はパクディンに宿泊の予定であった。

余震が続く地形、ロッジの損傷などから考えて、危険な状況だったので急遽飛行場のあるルクラまで下山した。その間は、登山道が亀裂、崩壊、倒木などがあり、数か所は高巻で下山した。

後で知ったが、私達の前後を歩いていたグループが6人が落石で亡くなったそうです。

休憩後、10分位早く歩き始めていたら、私達が落石にあっただかもしれない。本当に無事で帰れて良かったと思う。

亡くなった方々の冥福をお祈りし、ネパールの一日も早い復興を祈るばかりです。

【報 告】

当初、前記の計画予定であったが今年は雪が多く（60cm～100cm）で、パス（峠）超えは誰も行ってなくトレースもないので、無理との事で中止になった。パスからの景色を期待したのに、残念・・・

パス超えで各ピーク間をつなぐ計画がだめになり、その都度麓に戻り登り返す事になり歩く距離が長くなった。チュクンピークとカラパタールは上部だけ積雪があり、ゴーキョピークは三分の二の積雪があり、アイゼンを使用した時が2回あった。

大体は天候に恵まれ、楽しむ事が出来た。（雪、みぞれ、雨の中を歩いた時もあった）

アマダムラム、エベレスト、マカルー、アイランドピーク、ガチュンカン、チョー・オユー等々の眺めは素晴らしかった。歩いていて5,000m～6,000mの山々が、まじかに迫って迫力があり、遠くに8,000m峰の山が見え絶景・絶景の連続で、日本では見られない山岳風景で本当に素敵であった。

ナムチャバザールに向かう道中、桜・シャクナゲが満開で綺麗であった。サクラソウ・アイリス・日本の立山リンドウに似た花が沢山咲いていて、可憐でとても可愛く綺麗で励まされた。



うらやましいなー

- ・ 高所順応について
私も夫も高山病になる事もなく順応が上手くいき、3つの5,000m峰に登る事が出来た。ちば山の、富樫さんに助言をいただいた事がツアーの予定にくまれている、それを実行出来た事が、大きかったと思う。
それは、一日の行程が終わり宿泊地に着いてから、その日泊まる場所よりも少し高いところまで往復する事である。
今後、外国の高所登山の予定がある人は、ぜひこのことを実行する事をお薦めします。
- ・ トレッキングを終えて
絶景・絶景の連続、ネパールの人達の優しさに触れ良い旅であったが、大地震に遭遇し、忘れられない旅になった。
また、いつか行きたいと思うが、先立つものが・・・・



ネパール大地震救援報告

- ◆ 千葉県連盟の取り組みについて
千葉県連盟は、各会・クラブに救援金の協力をお願いしました。
8月30日現在 19会・クラブより 256,000円の支援金が寄せられました。
支援金については、9月の理事会で送り先などを協議し対応します。
 - ◆ 全国連盟の取り組みについて
 - ・ 全国連盟は、山岳6団体と協力して支援活動に取り組んでいます。
- 1、被害が特に大きかった、ランタン村復興に第一次支援を実施した。
「世界で一番美しい谷」「花のランタン」として世界中からトレkkerが訪れていました。ランタン・リルン峰からの崩落した氷河や土砂により、ほぼ全戸が崩壊し、村民175人、100人を超えるトレkker等が死亡しました。生き残った村民はカトマンズの避難キャンプで生活しています。ランタン村の復興と村民の生活再建に対し、長期にわたる支援が必要です。
 - 2、ロールワリン地区の小学校が倒壊し、危険回避のため避難生活をおくっています。仮設校舎を建築し耐震性のある軽量素材で本校舎を建築する。
この建設資金を支援する。
- ・ ロールワリン地区は、人口332人のうち54人がエベレスト登頂者との事多くの遠征隊を支えて来た「シェルパの里」です。

—— 編集者 ——

千葉県連盟創立50周年記念事業の概要案内

◆ 記念事業の行程・進捗の確認

1、記念山行について（安彦 副実行委員長）

① 海外ハイキングについて（バリ島サンライズ・トレッキング）

- ・実施日：2015年10月14日～20日
- ・目的地：バリ島（バトゥール山：1,717m・アグン山：3,031m）
- ・募集人員：24名（締切りました）
- ・費用（予算）：約16万（飛行機往復・宿泊費・現地移動費・ガイド料）
- ・9月10日（木）結団式 船橋市西部公民館

② 房総の山 50選

- ・全会・クラブの参加で実施
- ・日程：2015年10月4日～2016年3月末
- ・登山報告を、ガイドブック的にまとめる。

2、自然保護セミナー

千葉県連の自然保護運動の総まとめとして実施する。

- ・実施日：2015年11月14日
- ・会場：千葉文化センター（千葉市中央区・JR千葉駅より徒歩5分）
- ・参加人数：150名
- ・講師：鶴沢 喜久雄氏（ふわくHC）
- ・追原ダム計画現場、鬼泪山水源地、現状視察の実施
- ・産廃埋め立て現場、水源地の現状視察
- ・他の自然保護団体との交流

3、房総の山・沢についての紹介（現在は白紙）

- ・各会・クラブで取り組んでいる、房総の山、沢、などの資料提供をお願いしガイドブック的にまとめる

4、吉尾 弘氏の慰霊山行（谷川岳・一の倉沢）

- ・7月23日（木）実施済
- ・参加者42名

5、記念イベント

- ・2016年10月 清和県民の森に於いて、記念事業の締めくくりとして全会参加で実施する

6、記念誌「50年のあゆみ」（仮題）

- ・千葉県連盟の活動を、後世に伝える資料としてまとめる
- ・具体的内容として、県連盟の歴史、加盟会の紹介、会員数の推移、千葉県連盟の特徴的な取り組みのまとめなど、
- ・50周年記念事業の紹介、参加感想など

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 実行委員会に参加・協力・資料提供をお願いします。・ 連絡先・問い合わせ等は：広木 国昭 danphiro@zpost.plala.or.jp |
|---|

千葉県連創立50周年記念事業の案内

創立50周年事業も、10月には各行事がスタートします。

- ・「バリ島サンライズトレッキング」は、参加者も決まり、9月10日には説明会と結団式を実施します。安彦実行委員長の奮闘で、参加費も格安になりました。
- ・「房総の山 50選」が、10月4日のキックオフでスタートします。全各会・クラブの参加をお願いします。

◆ 「ふるさと房総の山に登ろう」について、お知らせとお願い

実行委員会には、房総の山・沢・登山道等に詳しい人、ふるさとの山を愛し、自然を守る運動に取り組んでいる人など、県連の仲間が参加しています。

- ・「房総の山 50選」の選定基準は

1、標高の高い山順：（「日本山名総覧」掲載の標高を参考とした）

2、地元で親しまれている山

を、中心に選びました。

- ・「房総の山 50選」の取り組みの概要について。

1、全会・クラブの参加で実施する。

2、参加方法（登り方）は、各会で選択する。

（会・クラブで1山～50山を選択・個人で50山も歓迎します

希望の山が複数になった場合は双方が登る。報告書の提出は実行委員会で調整し、1会・クラブをお願いします。）

3、登山期間は、2015年10月～2016年3月末とする。

- ・ 10月 4日（日）鬼泪山でキックオフを行いスタートする。

- ・ 10月25日（日）愛宕山山行、愛宕山の開放日となっている。

詳細は、後日案内します。希望会は、計画をして下さい。）

4、登山報告書について。

- ・ 報告書は、実行員会で共通の報告書を作成する。
- ・ 50周年記念誌に、掲載する。
- ・ ホームページにアップし、登山のガイドブックにする。
- ・ 報告書の提出は4月中とします。（記念誌に掲載するため）

5、会・クラブで取り組む山を、9月17日（木）県連理事会までに、下記に連絡をお願いします。

※ ・ その他、詳細については検討を進めています。

ご意見・問い合わせは、下記 連絡先までお願いします。

問い合わせ・連絡先：広木 国昭 danphiro@zpost.plala.or.jp

房総の登山は、10月から3月がベストシーズンです。

落ち葉を踏みしめ、東京湾、富士山、太平洋、大島を眺めて、房総の名湯に浸かり、地酒をほどほどに楽しもう。

房総の山50選

標高 順	山 名	山名ヨミ	標高 m	場 所	地形図名 1/25,000	三角点△ 標高点・	地形図に 山名有無	備 考 「」は地形図の山名
1	愛宕山	アタゴヤマ	408	安房鴨川駅西10km	金束	△	○	自衛隊基地、許可必要
2	鹿野山	カノウザン	379	佐貫町駅東9km	鹿野山	・	○	ゴルフ場、白鳥神社
3	清澄妙見山	キヨシミョウケンサン	377	安房天津駅北4km	安房小湊	・	○	「妙見山」、神社
4	二ツ山	フタツヤマ	376	安房鴨川駅西11km	金束	・	○	愛宕山近く
5	安房高山	アワタカヤマ	365	安房鴨川駅北西9km	鴨川	△	×	請雨山近く
6	御殿山	ゴテンヤマ	364	南三原駅北北西8km	金束	△	○	伊予ヶ岳・富山近く
7	富山	トミサン	349	岩井駅東北東3km	金束	△	○	三角点は北峰
8	石尊山	セキソンサン	348	上総亀山駅東南東6km	上総中野	△	○	七里川温泉から登る
9	山ノ神	ヤマノカミ	348	安房鴨川駅西北西12km	金束	△	×	横尾林道
10	元清澄山	モトキヨシミヤマ	344	上総亀山駅南6km	坂畑	△	○	保台ダムか郷台林道から登る
11	八良塚	ハチロウツカ	342	上総亀山駅南西9km	坂畑	・	○	高宕山の続き
12	御嶽山	オンタケサン	341	上総中野駅南西5km	上総中野	・	○	麻綿原林道、クダケ山
13	伊予ヶ岳	イヨガタケ	336	岩井駅東北東6km	金束	△	○	三角点は北峰
14	嶺岡浅間	ミネオカセンゲン	335	安房鴨川駅西7km	鴨川	1等△	○	神社
15	大日山	ダイニチヤマ	333	南三原駅北北西7km	安房古川	△	○	御殿山近く
16	高宕山	タカゴヤマ	330	上総亀山駅西南西10km	鬼泪山	・	○	315m三角点は別
17	三郡山	ミヨオリヤマ	330	安房鴨川駅西北西11km	金束	×	×	3郡(天羽・君津・安房)の境界
18	鋸山	ノコギリヤマ	329	浜金谷駅南東2km	保田	1等△	○	浜金谷から登る
19	高鶴山	タカツルサン	326	太海駅西北西6km	鴨川	・	○	上神社から登る
20	津森山	ツモリヤマ	320	保田駅東9km	金束	×	○	をくずれ水仙ロード
21	嵯峨山	サガヤマ	315	保田駅東北東4.5km	金束	△	×	水仙ピークの隣
22	経塚山	キョウツカヤマ	311	南三原駅北6km	安房古川	△	○	踏跡あり
23	人骨山	ヒトホネヤマ	292	保田駅東8km	金束	△	○	津森山近く
24	大福山	ダイフクヤマ	292	養老溪谷駅西南西3km	久留里	・	○	梅ヶ瀬溪谷から登る
25	上総富士	カスサフジ	285	上総松丘駅西北西2.5km	久留里	・	○	「富士山」、ゴルフ場神社
26	豊岡愛宕山	トヨオカアタゴヤマ	283	上総湊駅南東9km	鬼泪山	・	○	「愛宕山」、富津市民の森
27	三石山	ミツイシヤマ	282	上総亀山駅南2.5km	坂畑	・	○	三石観音寺
28	大塚山	オオツカヤマ	280	上総亀山駅西南西4km	坂畑	△	○	松丘大塚山
29	度祇巖山	トビイロヤマ	278	安房鴨川駅北北東4km	鴨川	△	×	痔(モウケ)神社より登る
30	御所塚山	ゴショツカヤマ	271	飯給駅西南西3km	久留里	1等△	×	山砂採掘場の上
31	鬼泪山	キナダヤマ	268	佐貫町駅東南東5km	鬼泪山	△	○	320m三角点はマザー牧場内
32	野々塚	ノノツカ	268	上総興津駅北北西5km	上総中野	1等△	○	上総中野から県道177号
33	烏場山	カラスバヤマ	266	和田浦駅北4km	安房和田	△	○	花嫁街道
34	殿中山	テンチュウサン	263	総元駅南西3km	上総中野	・	○	金網、竹林
35	津辺野山	ツベノヤマ	259	安房勝山駅東3km	保田	△	○	踏跡あり
36	伊藤大山	イトウオヤマ	246	大多喜駅西4km	大多喜	△	○	頂にアンテナあり
37	三条大塚山	サンジョウオオツカヤマ	241	西畑駅南1.5km	上総中野	△	×	自然公園万葉の道
38	浅間山	アサマヤマ	225	大多喜駅西北西3km	大多喜	・	○	踏跡あり
39	高塚山	タカツカヤマ	216	千倉駅南南西4.5km	千倉	・	○	1等三角点は別
40	水室山	ミムロヤマ	215	上総湊駅東南東5km	鬼泪山	△	○	志駒から登る、ゴルフ場の東
41	鴨川富士	カモガワフジ	209	安房鴨川駅北北西3km	鴨川	△	×	打墨から登る
42	金比羅山	コンピラサン	208	九重駅北6km	安房古川	△	○	海老敷から登る
43	関大塚山	セキオオツカヤマ	199	上総湊駅東南東8km	鬼泪山	△	○	「大塚山」、踏跡あり
44	房の大山	ホウノオヤマ	193	館山駅西南西8km	館山	1等△	○	「大山」
45	久留里愛宕山	クルリアタゴヤマ	192	久留里駅西2km	久留里	・	○	「愛宕山」、教習所の北
46	音信山	オトブレヤマ	186	高滝駅西北西2.5km	上総横田	・	○	上総久保駅から登る
47	城山	シロヤマ	183	富浦駅北東3km	那古	・	○	道の駅おおつの里から登る
48	野見金山	ノミゲヤマ	180	上総鶴舞駅東南東4km	鶴舞	△	○	公園の南、ゴルフ場
49	大多喜高塚山	オオタキタツカヤマ	179	東総元駅西南西1.5km	大多喜	△	○	「高塚山」
50	江見大塚山	エミオオツカヤマ	175	江見駅西2km	安房和田	△	○	「大塚山」、踏跡あり

2015年10月4日(日) 鬼泪山でキックオフ、2016年3月末を目標に登山を開始します。

各会・クラブの参加で、千葉県連盟創立50周年を祝おう！

著 書 紹 介

本書は、2年前にまとめた「松戸から登った山65選」に、加えて自費出版した。自信の山行をまとめた自費出版は良く目にしますが、この本には著者のこだわりを感じます。タイトルの「松戸から登った山」自分の居住からの山行をまとめた事に、強いこだわりと魅力を感じます。

千葉県連の仲間が、松戸から登った しかも労山仲間価格で付き合っているだけの事。ぜひ、購読をお願いします。

(消費税込 1,728 円 ですが、労山仲間価格で 2 部以上・送料込 1,500 円 会の仲間と一緒に購読をお願いします)

連絡先 メール kan-4605@ka8.koalanet.ne.jp



著者紹介

鈴木 寛太 (まつど山翠会 所属)

静岡県浜松市生まれ・秋田県長信田村に疎開

前半は省略します

- ・ 1973年 東京都勤労者連盟の自然保護担当理事に就任。天祖山保護運動に参加
- ・ 1978年 日本勤労者山岳連盟役員に就任。自然保護・組織を担当
- ・ 2004年 自然保護憲章制定委員会 事務局を担当
- ・ 1982年 松戸山の会を創設 初代会長
- ・ 2001年 松戸山翠会を創設 初代会長

「労山自然保護憲章」とは

2006年に制定される。労山は創立(1960年)以来、自然保護問題に正面から取り組み、自然を破壊し登山を阻害開発に反対して来た。また「山からゴミを一掃しよう」とクリーンハイクを定着させた。

私たちは、登山文化の継承発展と、山岳自然と登山者との新しい共存をめざし、ここに「労山自然保護憲章」を定めた。

著者は、自然保護憲章制定委員会の事務局を3年間担当し、憲章制定に多大な力を発揮した。労山の自然保護運動の基礎をきずいた功労者である。

憲法 9 条を守って戦争しない日本を継続させ、 登山文化を守るための声明

2015 年 8 月 25 日

日本勤労者山岳連盟理事会

日本は悲惨な戦争を起こしたことの反省のうえに立ち、「二度と戦争をしない」決意を憲法に掲げ、70 年間にわたって諸国民との友好・親善の国際交流を深めてきた。そして、登山は平和で民主的な国民生活に根差したスポーツ・レクリエーションとして国民に親しまれ、登山文化も多様な形で普及・発展してきた。さらに、海外登山を通じて多くの諸国民との親睦・交流が広がり、草の根の国際連帯も広がっている。

いま国会では、日本が攻撃を受けていなくても、自衛隊が海外での武力行使と米国など他国軍隊と一緒に戦争に参加するための集団的自衛権を行使できることを内容とした法案が審議されている。

この「安全保障関連法案」に対し、どの世論調査でも国民の 5 割以上が「憲法違反」と批判し、6 割以上が「今国会での採決はやめるべき」とし、大多数の憲法学者も「違憲」を表明している。また、日本弁護士連合会は「平和的生存権を保障した憲法前文及び第 9 条に違反し、平和国家としての日本の国の在り方を根底から覆すもの」で「違憲」であるとして、反対を表明している。そして、多くの知識人、文化人、団体が反対・廃案を表明し、国会審議を通じても法案の違憲性は明白となっており、国民からは「戦争法案」とも呼ばれ、法案への反対と廃案を求める運動は全国で展開され大きく運動が広がっている。

1931 年からはじまった 15 年戦争の前までは、日本の登山界は順調に発展を遂げていたが、戦争に突入するなかで、登山者にとって大切な地形図の販売制限、山岳誌は発禁・休刊・廃刊となり、国民の登山そのものも制限され、海外登山はできなくなった。そして、軍部の主導によって登山界も戦争に協力させるための「行軍山岳部」などがつくられ、国民は自由に登山ができなくなった。

登山は、自由と平和、ヒューマニズムとフェアな精神をモットーとするスポーツである。このことから、日本勤労者山岳連盟は趣意書で、「登山の正常な発展は、軍国主義の支配と侵略戦争の拡大によって著しく阻害された」ことを表明し、平和な社会でこそ、登山文化の正常な発展ができること。そして、「確固とした世界平和は、海外登山発展の基礎である。諸国民との相互理解、友好をさらに深めることが強く求められている」として、戦争のない平和な日本、世界平和の実現を求めている。

自衛隊が海外で武力を行使し戦争に参加する法案は、憲法 9 条に違反し立憲主義にも反し、多様な形で発展してきている登山文化をも脅かすものである。

日本勤労者山岳連盟の趣意書に基づいて、日本が「海外で戦争する国」、「殺し殺される」戦争に自衛隊を送るような「違憲」の法律案は、廃案にすべきことをここに表明する。

以上

全国連盟理事会より「登山文化を守る声明」が届きましたので紹介します。

ゆう便り NO. 15

＊日時： 2015. 8.08～8.09

＊場所： カリタス原町ベース（宿泊）視察支援；カリタス原町、現地漁協ボランティア

＊参加者： 6人 内容：視察

8月8日9日の土日で、ちば労山ゆうとして福島の現状を視察してきましたので報告します。

8月8日 9:00>>東関道>圏央道>常磐道> 南相馬 IC 12:30

視察1：富岡町、Jビレッジ、浪江町役場―パトカー、小高、希望の牧場

8月9日 9:00～ 請戸、請戸小学校、小高など、

今回は、<カリタス原町ベース>というカトリック系の支援ベースにお世話になり、現地に長いH所長自ら視察ガイドをして頂いた。まずは、浜通りを南北に貫いている生活道路6号線で一路南へ、南相馬市 小高>浪江>双葉>富岡と進んだ。最初のポイントは、JR 常磐線の富岡駅付近（1Fから20km、解除準備地域）



もう4年半も経つが、まだ建物は津波で壊されて、波で流された軽トラックが中華料理屋さんの店の中に入り込んだままだ。海側には1tは入るといふ黒いフレコンバックに詰められた放射能廃棄物（がれきや除染土等）がおびただしく5段に積まれて並んでいる。Hさんの説明によるといったん燃えるゴミ、燃えないゴミに仕分けされ、燃えるごみは隣の大きな焼却施設で燃やされ、体積を大幅に圧縮（小さく）したうえで再度袋詰めして仮置き場へと連れていかれる。今回、制限区域と準備区域で汚染物の仮置き場がいたるところで散見された。

来年3月4月をめどに準備地域の帰還解除が進むとされているが、どれだけの住民が、帰る準備を進めているのか全く不明だ。



軽トラックが店の中に入ったままの料理店



押しつぶされた・パトカー

その後、第一原発廃炉に向けた多数の作業員が基地としているＪビレッジに寄った。もともと日本代表が合宿できるレベルのサッカー強化、練習施設として、東電から福島県へ寄付されたものだが、今は広いサッカー場がすべて作業員の駐車場となっている。

ここから第一原発まで２０ｋｍ。朝から晩までシフト勤務の作業員の為のバス基地、生活基地になっている。

旧浪江町庁舎の裏の公園に 3.11 津波で流され、めちゃめちゃに押しつぶされたクラウンのパトカーがかざられていた。二人の警察官のうちまだ一人が見つからない。

その後浪江と小高の境目にある＜希望の牧場＞なる所（原発から 14km）を見学した。たまたま在宅した牧場責任者の吉澤さんにお話を直接伺う事ができた。環境省は、被爆した家畜について＜殺処分＞を基本政策としているが、酪農家として牛などを育ててきた吉澤さんは、牛には何の責任もない、F1 事故被害で殺処分は絶対反対。自然の寿命を全うさせるべきと考え、現在約 330 頭の牛を広い牧場で育てている。多額のコストがかかるが、被爆で使えなくなった牧場と売れなくなった家畜を前に、せめて動物本来の命（寿命）を生かすという気持ちを貫かれないそう。



希望の牧場・ふくしま

翌日 8 月 9 日は、浪江で 30 年前から漁業をされてきた S さんが今日の視察の案内役だ。あらかじめ浪江町の許可を頂き、一般には入れない様々な場所を案内して頂き、浪江、請戸地区の当時の被災状況や現状を住民目線で語って頂いた。

請戸小学校では、海岸から 340m の 110 人規模の学校だったが、この日 3.11、校長以下約 90 人の生徒と職員は、歩きと小走りで 6 号線側の 2km 離れた小高い丘目指して逃げる事ができ全員無事だったお話を聞いた。この時、この丘へ避難を誘導したのは以前父親と丘へ登ったことのあったひとりの生徒であったという。切羽つまった時に生徒を信じ全員を無事避難させた先生方や、重大な危機を救った幼い一生徒のお話に感動した。



今回特に原発立地地区で、共通して言えるのが、町の役場（庁舎）、学校、健康、スポーツ施設など大変立派なものが多い事。原発の誘致に関し 公共施設の建設や地場産業育成が企画され（電源三法交付金）、地域に不釣り合いにも見える立派な施設が出現する光景がこれであろうか。

しかし、我々が見せてもらった、驚くほど高機能を持つ校舎も一瞬にして瓦礫と化してしまった。

4年半たっても将来が見通せない 11 万人にも及ぶ避難中の住民には、脱原発を真剣に考えてほしいとの声も聞こえるという。

ここ福島では今年になってボランティアの数が減ってきている。小高など制限区域が解除で帰還できる来年 3 月に向けて、家の内外の整理のニーズが増すと思われる。

今後とも、福島へは特に電気を使って快適に生活している、首都圏のみんなで応援したいものだ。



浪江 請戸小学校体育館



停止した時計と激励文が書かれた黒

報告者 「ちば労山ゆう」理事 村尾 憲治

NPO法人「ちば労山ゆう」会員数

	会・クラブ名	正会員数	賛助会員数	合計
1	千葉こまくさハイキングクラブ	3		3
2	君津ケルン山の会	6	9	15
3	松戸遠足クラブ 1年さくら組	2		2
4	船橋勤労者山の会	6	1	7
5	松戸山の会	11	28	39
6	ちば山の会	13	1	14
7	かがりび山の会	8	11	19
8	ふわくハイキングサークル	25	4	29
9	東葛山の会	4	11	15
10	シリウス☆山の会	1	1	2
11	茂原道標山の会		1	1
13	らんたん山の会	5	7	12
14	会員外	13	12	
	合 計	97	86	183

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)

- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまでお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
常時入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

 - ◎ 支援活動日のお知らせ
 - ・ 9月12日・13日（福島）
 - ・ 10月 3日・ 4日（石巻）
 - ◎ 支援物資販売活動について
皆様のご協力により、交通費の補助に役立っています。
引き続きご協力をお願いします。
三陸・気仙沼直送の支援物資は
「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」
「くきわかめ」「すき昆布」
「とろろこんぶ」
牡鹿半島の「塩蔵わかめ」
常時在庫あります。
宅配も、相談下さい。

支援物資に関する問い合わせは
下記アドレスに連絡を！

danphiro@zpost.plala.or.jp



県 連 活 動 予 定 表

9月	行事予定	10月	行事予定
1 火	県連役員会	1 木	
2 水		2 金	
3 木		3 土	NPO支援活動(3日・4日)
4 金		4 日	「房総の山50」キックオフ・鬼涙山
5 土	関東ブロック役員交流会	5 月	
6 日	(茨城県連)	6 火	県連役員会
7 月		7 水	
8 火	ハイキング委員会	8 木	
9 水		9 金	
10 木	バリ島トレッキング・説明会	10 土	
11 金		11 日	
12 土	NPO支援活動	12 月	
13 日	〃	13 火	
14 月		14 水	
15 火		15 木	
16 水		16 金	
17 木	県連理事会	17 土	関東ブロック自然保護集会
18 金		18 日	〃
19 土		19 月	
20 日		20 火	
21 月		21 水	
22 火		22 木	県連理事会
23 水		23 金	
24 木	組織委員会	24 土	
25 金		25 日	「房総の山50」統一登山愛宕山
26 土		26 月	教遭委員会
27 日		27 火	NPO役員会
28 月	教遭委員会	28 水	
29 火	NPO役員会	29 木	50周年実行委員会
30 水		30 金	
		31 土	

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者：吉田 哲治

編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ